

令和2年度

住道北小の学校づくり



学校教育目標

「夢をもつ 住北っ子」－心豊かに生きぬく たくましい子－

つきたい力		めざす子ども像
<p>「つよい子」 心身を鍛え ねばり強くやりぬく子 (健全なる身体)</p>	<p>体育</p>	・生命の尊さを自覚し、自他の生命を大切にする子
		・規則正しく生活し、元気に登校できる子
		・進んで運動に励み、体力・運動能力を高める子
		・健康の大切さを知り、望ましい食習慣を身につけた子
<p>「よい子」 認め合い、助け合う 思いやりのある子 (豊かな心)</p>	<p>徳育</p>	・規律を守り、協働して取り組める子
		・気持ちの良い返事やあいさつ、言葉づかいができる子
		・友達を大切にし、いじめを許さない子
		・進んでそうじや仕事に励み、働くことを喜ぶ子
<p>「かしこい子」 教え合い、高め合う 学びでつながる子 (自ら学ぶ力)</p>	<p>知育</p>	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、活用できる子
		・自然や社会の事象に興味関心をもち、自ら課題を見つけ、主体的に解決する子
		・自ら問いを持ち、根拠をもって自分の考えを説明できる子
		・他者や自分の考えを客観的・論理的に考え、判断する子

経営方針

- ①気持ちのそろった教職員集団づくりを進める。 (学び合い高め合う同僚性)
- ②すべての子どもの学びを支える授業づくりを進める。(学びでつながる学習集団)
- ③子どもに居場所のある学級集団づくりを進める。 (安心して学べる学習環境)
- ④双方向的な家庭とのかかわりと地域・校種間連携を進める。
(通わせたくなる学校・誇りの持てる学校)



令和2年度 努力目標

- ◇自ら問いを持ち、根拠をもって自分の考えを説明できる子の育成
- ◇生活規律を意識して生活し、違いを豊かに認め合う子の育成
- ◇友だちのつまずきを大切に学び合い、課題の達成を喜び合える子の育成

主な具体的方策

自ら学ぶ力 (知育)	<ul style="list-style-type: none"> ◆個を大切にした授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ「自ら学び、共に高め合い、学びを深める子をめざして」のもと、「主体的な言語活動を設定した授業づくり」をめざす国語科の校内研究等による国語力の向上 ・学習規律「住北スタディ∞(Iト)」及び系統性を踏まえた「話す」「聞く」「読む」「書く」の指導の徹底と言語活動の充実 ・少人数(分割・習熟度別)指導(4・5年生)及び特別支援教育の視点を取り入れた授業による個に応じたきめ細かな指導の充実 ・ICT機器の積極的かつ効果的な活用 ◆基礎基本の学力向上システム <ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習(月・火・木・金:8:30~8:45)や放課後(「寺子屋DAY」)補充学習等による基礎基本の学力の定着 ⇒ 計算スキルアップ・漢字検定チャレンジ月間(6・11・12・2月) ・昼のモジュール学習(13:45~14:00) ⇒ 「DREAM」を活用した英語学習等 ・朝の読書(水:8:30~8:45)や「読書ノート」の取組みによる読書活動の充実 ・「家庭学習の手引き」(改訂版)による家庭への啓発と、課題の出し方や評価方法の工夫による家庭学習の習慣化 ⇒ 「家庭学習カード」の取組み
豊かな心 (徳育)	<ul style="list-style-type: none"> ◆一致した生活指導 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活のしおり」等をもとにした一致した生活指導(「徹底4項目」:あいさつ、廊下の右側歩行、はきものの整頓、ハンカチ・ティッシュ・名札・黄帽の携帯・着用) ・「いじめは、どの学校でもどの子どもにも起こりうるものである」という共通理解と「いじめは絶対に許さない」という強い決意のもと、「学校いじめ防止基本方針」にもとづく未然防止と早期発見・早期解決と情報モラル教育の推進 ⇒ 「情報モラル教室」の実施 ・長期欠席・不登校、問題行動、虐待等への迅速かつ組織的な対応のための校内支援体制の確立と家庭教育支援チーム(SSW)等との連携によるケース会議の充実 ◆集団づくり(人間関係づくり)の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもに居場所(安心感・所属感)があり、つながりが実感できる集団づくり ⇒ 住北小の「4つの合い(愛)」=「認め合い」「助け合い」「教え合い」「高め合い」 ・異年齢集団による活動(児童会・委員会・クラブ活動、なかよし学年交流等)及び保・幼・小・中連携による園児・児童・生徒間交流の推進 ◆人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・人権の視点を取り入れた総合的な学習カリキュラムの再構築 ◆道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の全体計画及び年間指導計画に基づく「特別の教科道徳」の授業改善(問題解決的・体験的な学習の工夫等)及び適切な評価の研究 ◆キャリア教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校9年間を見通した「キャリア教育全体指導計画」にもとづくキャリア教育の推進と「キャリア・パスポート」の効果的な活用
健全なる身体 (体育)	<ul style="list-style-type: none"> ◆体力・運動能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ「自ら学び、共に高め合い、学びを深める子をめざして」のもと、「子どものつまずきから出発する体育科の授業づくり」をめざす体育科の校内研究や実技研修並びに朝の体力づくり(なわとび・マラソン)等による体力・運動能力の向上 ◆基本的な生活習慣の確立と心身の健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携による「早寝・早起き・朝ごはん」(「元気っ子週間」)等、基本的な生活習慣の確立と発達段階に応じた「いのちの学習」(性教育)の推進 ◆食育の推進と充実 <ul style="list-style-type: none"> ・給食指導をはじめとする児童に望ましい食習慣を形成するための食に関する指導の推進 ◆危機管理体制の見直しと防災教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災・風水害・不審者侵入等の対応訓練の実施と各対応マニュアルの点検と「主体的に行動する態度」を育成する防災教育の充実 ・交通安全教室や防犯教室など、交通事故や犯罪被害に遭わないための安全教育の推進